

Ⅱ. 神奈川のがん（平成 25 年）

1. がんのり患

(1) 平成 25 年のがんのり患

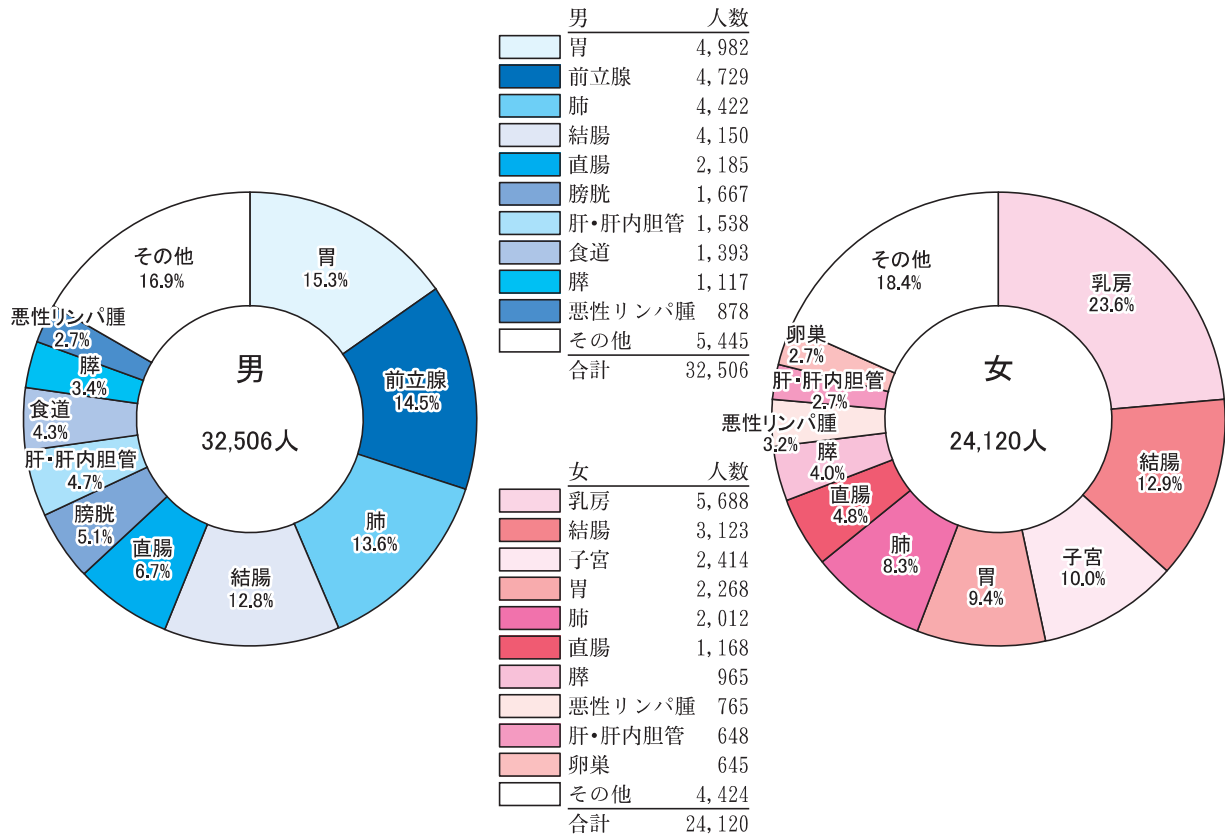


図 4 悪性新生物部位別り患の比較 ―平成 25 年―

平成 28 年度の神奈川県悪性新生物登録事業では、概要の 4. 事業実施状況（20 ページ）で報告している登録票と平成 27 年の死亡票の処理を行ったほかに、平成 25 年の悪性新生物（以下「がん」と称す）のり患、死亡状況についての集計・解析を行った。集計対象年が 3 ～ 4 年前の「平成 25 年」であるのは、概要の 6. り患算定方法の項（26 ページ）で説明した理由に依っている。

平成 25 年の本県のがんのり患者は 56,626 人（男 32,506 人、女 24,120 人）であった。そのうち県下の医療機関からの届出や登録室の出張採録によって登録されたのは 51,482 人（90.9%）、死亡票により確認されたものが 5,144 人（9.1%）であった。り患数は平成 24 年と比較すると 1,752 人（男 822 人、女 930 人）の増加であった。

がんの部位別割合をみると（図 4）、男で最も多いのは胃で 4,982 人（15.3%）、次いで前立腺 4,729 人（14.5%）、肺 4,422 人（13.6%）、結腸 4,150 人（12.8%）、直腸 2,185 人（6.7%）、膀胱 1,667 人（5.1%）、肝・肝内胆管 1,538 人（4.7%）、食道 1,393 人（4.3%）、膵 1,117 人（3.4%）、悪性リンパ腫 878 人（2.7%）、その他 5,445 人（16.9%）の順であった。女で最も多かったのは、

乳房 5,688 人(23.6%)、次いで結腸 3,123 人(12.9%)、子宮 2,414 人(10.0%)、胃 2,268 人(9.4%)、肺 2,012 人(8.3%)、直腸 1,168 人(4.8%)、脾 965 人(4.0%)、悪性リンパ腫 765 人(3.2%)、肝・肝内胆管 648 人(2.7%)、卵巣 645 人(2.7%)、その他 4,424 人(18.4%) の順であった。平成 24 年のり患割合と比較すると、男では前立腺、結腸、膀胱、悪性リンパ腫の割合が、女では乳房、子宮、直腸、悪性リンパ腫の割合が増加し、男の胃、肺、肝・肝内胆管、食道、脾、女の胃、肺、脾、肝・肝内胆管、卵巣は減少している。

人口 10 万人当りの粗り患率は男 720.6、女 534.9 で、平成 24 年は男 702.6、女 515.5 で男女共高くなっていた。また、年齢調整り患率（標準人口は世界人口一付表 33—を用いた）は男 298.8、女 242.1 で、平成 24 年は男 301.5、女 233.7 で女は上昇していた。主要部位別のり患数、粗り患率、年齢調整り患率は（付表 1、2、3）に掲載した。

(2) 主要部位別り患割合

わが国のがんの死亡を人口動態統計で観察すると、胃がんや肺がんの死亡が多いことが特徴である。がんのり患についても地域がん登録で観察するかぎり、胃がんや肺がん、結腸がん、乳がんのり患が多いことが観察されている。しかし、経年的にがんの死亡やり患を部位別に細かく観察すると、性別、年齢別に少しずつ変化していることがわかる。

表 5 は、平成 24－26 年（3 年間）と 10 年前の平成 14－16 年（3 年間）の主要部位別、性別のり患数、り患割合、性比を比較したものである。平成 24－26 年の男のり患数は 99,576 人、女のり患数は 73,742 人であり、10 年前の平成 14－16 年の男のり患数は 61,281 人、女のり患数は 42,670 人で、男女ともり患数の増加がみられる。

図 5 より、部位別の構成割合をみると、男は胃が 18.3%から 15.4%へ、肝・肝内胆管が 8.0%が 4.6%へ、女は胃が 12.0%から 9.2%へと大きく減少している。また、肝・肝内胆管も男同

表 5 主要部位・性別・り患数およびり患の割合と性比

部位	ICD-10	平成 14 年－16 年					平成 24－26 年				
		男 (M)		女 (F)		性比 M/F	男 (M)		女 (F)		性比 M/F
		数	%	数	%		数	%	数	%	
全部位	C00-C96, D06	61,281	100.0	42,670	100.0	1.4	99,576	100.0	73,742	100.0	1.4
口腔・咽頭	C00-C14	1,507	2.5	617	1.4	2.4	2,525	2.5	910	1.2	2.8
食道	C15	2,989	4.9	528	1.2	5.7	4,292	4.3	837	1.1	5.1
胃	C16	11,192	18.3	5,114	12.0	2.2	15,367	15.4	6,787	9.2	2.3
結腸	C18	6,723	11.0	5,060	11.9	1.3	12,621	12.7	9,589	13.0	1.3
直腸	C19-C20	3,806	6.2	2,123	5.0	1.8	6,721	6.7	3,633	4.9	1.8
肝・肝内胆管	C22	4,886	8.0	2,064	4.8	2.4	4,602	4.6	2,169	2.9	2.1
胆のう・胆管	C23-C24	1,351	2.2	1,349	3.2	1.0	2,111	2.1	1,718	2.3	1.2
脾	C25	2,232	3.6	1,706	4.0	1.3	3,434	3.4	3,008	4.1	1.1
喉頭	C32	587	1.0	47	0.1	12.5	833	0.8	72	0.1	11.6
肺	C33-C34	8,717	14.2	3,706	8.7	2.4	13,475	13.5	6,152	8.3	2.2
骨	C40-C41	75	0.1	51	0.1	1.5	79	0.1	86	0.1	0.9
皮膚	C43-C44	611	1.0	583	1.4	1.0	1,885	1.9	1,806	2.4	1.0
前立腺	C61	6,679	10.9	・	・	・	14,355	14.4	・	・	・
乳房	C50	54	0.1	8,112	19.0	・	90	0.1	17,232	23.4	・
子宮	C53-C55, D06	・	・	3,716	8.7	・	・	・	7,168	9.7	・
卵巣	C56	・	・	1,786	4.2	・	・	・	2,092	2.8	・
膀胱	C67	2,489	4.1	739	1.7	3.4	5,123	5.1	1,446	2.0	3.5
白血病	C91-C95	1,005	1.6	617	1.4	1.6	1,362	1.4	881	1.2	1.5

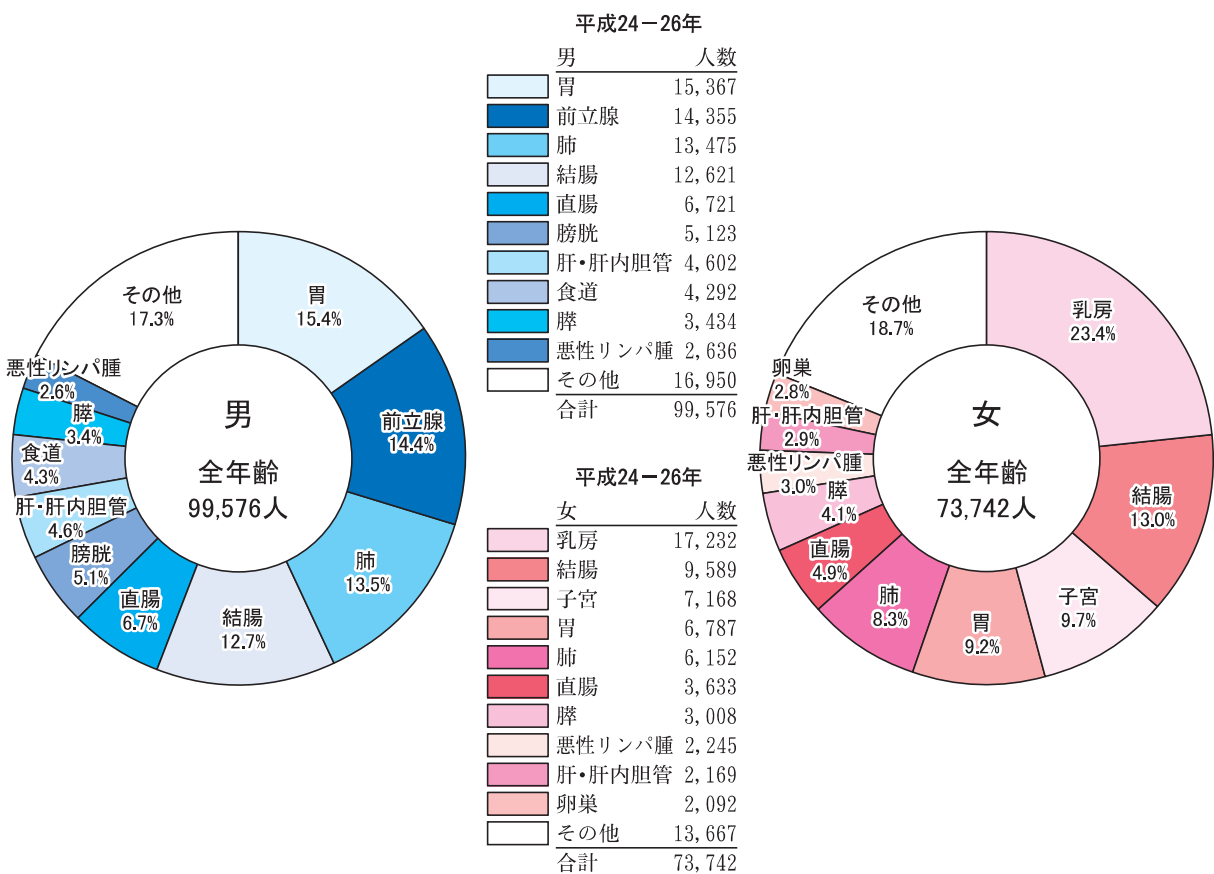
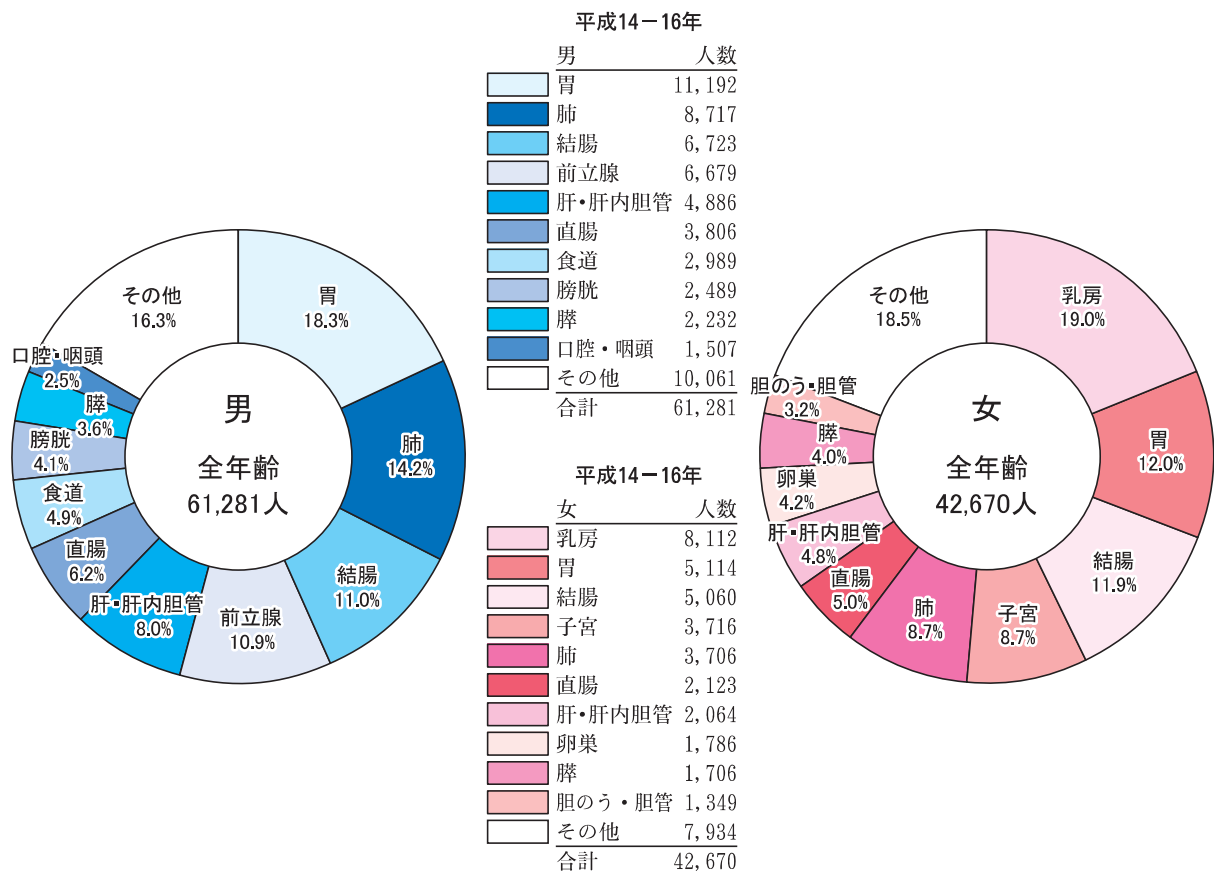


図5 がんの部位別り患割合の比較

様に女では4.8%から2.9%へと減少している。胃、肝・肝内胆管の部位とは逆に、男では前立腺や膀胱の割合が大きく増加し、特に前立腺は10.9%が14.4%となり、り患順位では4位が2位となった。女では、結腸、膵、皮膚、乳房、子宮、膀胱の割合が増加している。また、女を1とした場合の男の比（性比）をみると、ほとんどの部位で男が高く、喉頭、食道、膀胱、口腔・咽頭、肺、胃、肝・肝内胆管でその比も大きくなっている。

平成14－16年の部位別のり患数を1とすると、10年後の平成24－26年は、男では皮膚が3.1倍、前立腺が2.1倍、膀胱が2.1倍に増えている。女では皮膚が3.1倍、乳房が2.1倍、膀胱が2.0倍、結腸が1.9倍に増えている。

(3) 年齢階級別り患割合

がんの部位別り患割合は性別により異なるように、年齢階級にも違いが観察されている。図6－1、2は平成24－26年の3年間の合計り患数を0－14歳、15－39歳、40－64歳、65歳以上の4年齢階級に分け、男女別に主要部位別り患割合を図示したものである。

0－14歳の平成24－26年のり患数は男193人、女158人といずれも少ない。主要部位をみると、男女ともに白血病、脳などが高い割合を占めている。また、白血病以外は成人のがんではあまり見られない部位構成をしている。

15－39歳をみると、男のり患数は1,314人、女のり患数は3,962人で女が2,648人多い。り患数の多い部位を見ると、男では、精巣、結腸、白血病、悪性リンパ腫、直腸の順で、女では、子宮、乳房、甲状腺、卵巣、結腸の順で高い割合を占めている。女の方がり患数が多く、性別によりり患の部位が異なっている。

40－64歳では、男のり患数は21,801人、女のり患数は23,825人である。男は、結腸、胃、肺、直腸、前立腺の順に、女は乳房、子宮、結腸、胃、肺の順に、り患割合が高い。また40－64歳の男のがんり患数は、男の総り患数の21.9%を、40－64歳の女のがんり患数は、女の総り患数の32.3%を占めている。

65歳以上のり患数は男76,268人、女45,797人である。男は前立腺が、女は結腸が最も多く、次いで男は胃、肺、結腸、直腸の順に、女は、結腸、乳房、胃、肺、膵の順にり患割合が高い。65歳以上のがんり患数は、男の総り患数の76.6%を、65歳以上の女がんり患数は、女の総り患数の62.1%を占めている。

男では、40－64歳で結腸、胃、肺、直腸のり患数が多く、65歳以上では前立腺、胃、肺、結腸のり患が多くなっている。女では40－64歳で乳房、子宮、結腸、胃のり患数が多く、65歳以上では結腸、乳房、胃、肺のり患数が多くなっている。また、男の65歳以上に前立腺がんが増えてきている。

40歳以上の男のり患数は、男の総り患数の98.5%を、40歳以上の女のり患数は、女の総り患数の94.4%を占めている。

がんり患の部位別り患数やり患割合は、性別、年齢階級別に異なり、また、地域による違いや経年の変化も観察されている。（付表2、8、19、21、参照）

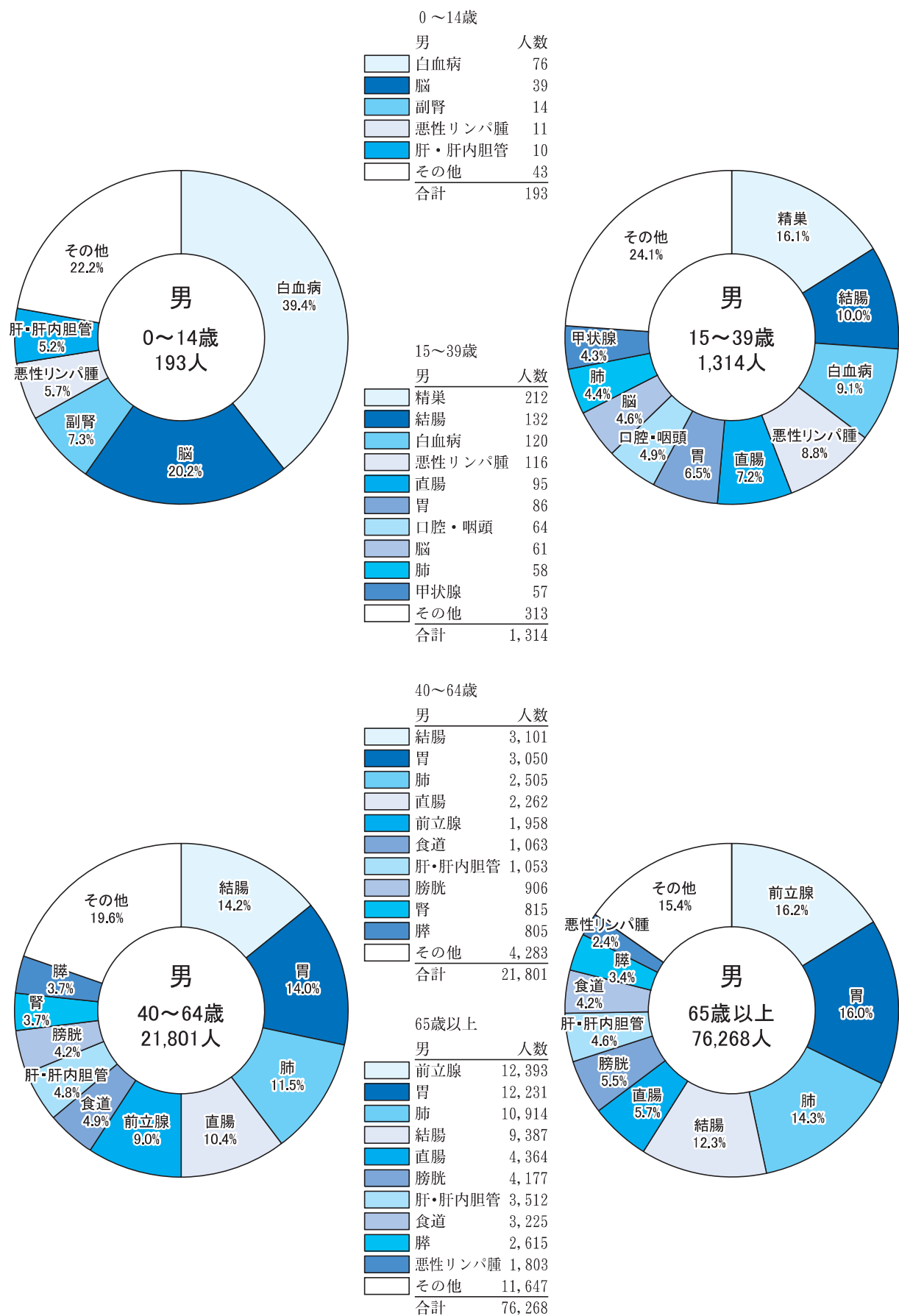


図 6 - 1 リ患の年齢階級別、部位別比較 - 男 - (平成 24 - 26 年)

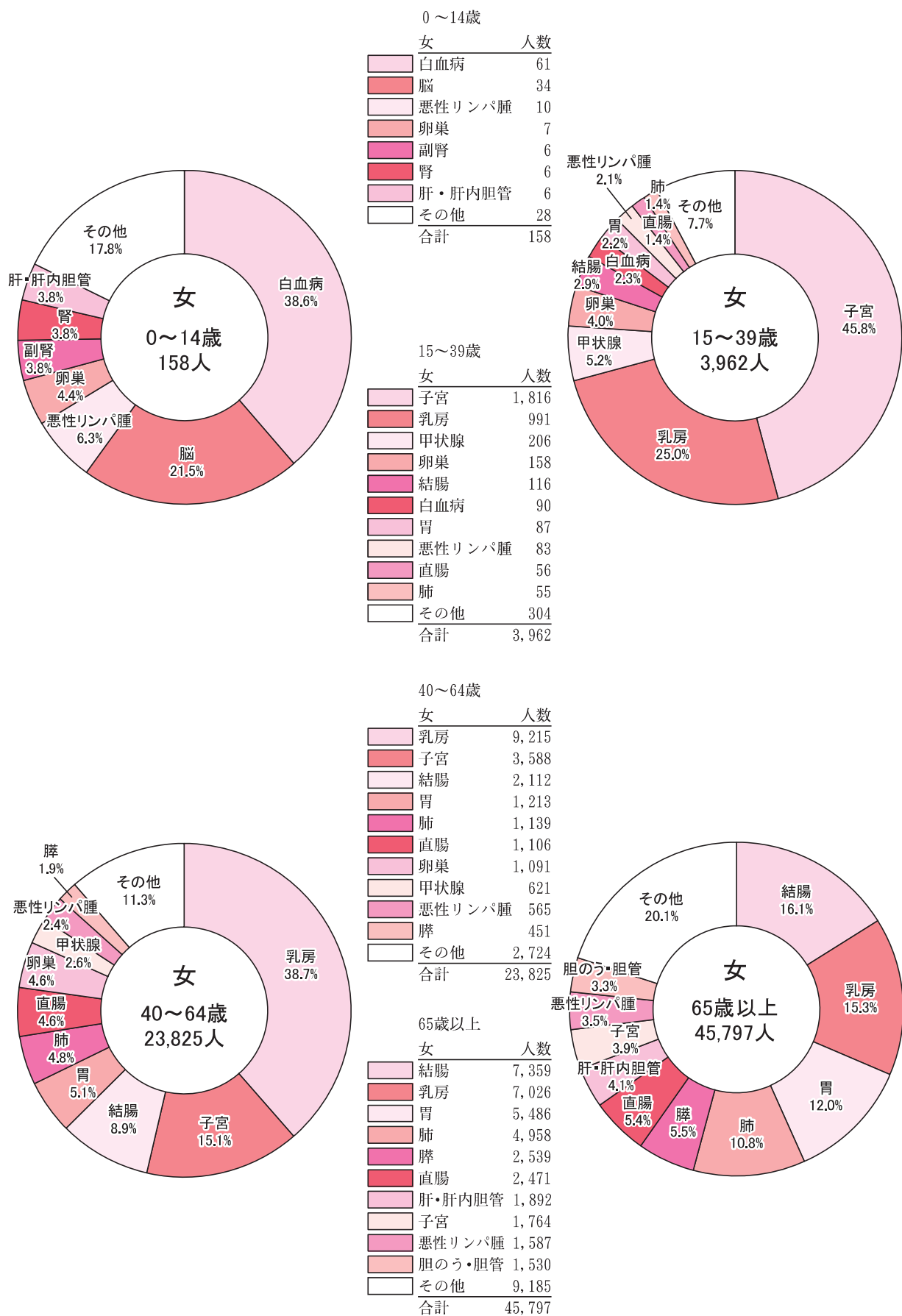


図6-2 リ患の年齢階級別、部位別比較 -女- (平成24-26年)

(4) 主要部位の年齢階級別り患割合

平成24－26年のり患数より、部位別、性別、5歳毎の年齢階級別のり患割合を図7－1、7－2、7－3に示した。ほとんどのがんは40歳頃より増加し、65－75歳頃が最も高い割合を占めていることがわかる。年齢階級別にみると、乳房、卵巣は最も高い割合を占める年齢が45－65歳である。女性では、口腔・咽頭、胃、結腸、肺、脾、皮膚、膀胱、白血病は85歳以上でも高い割合を占めている。

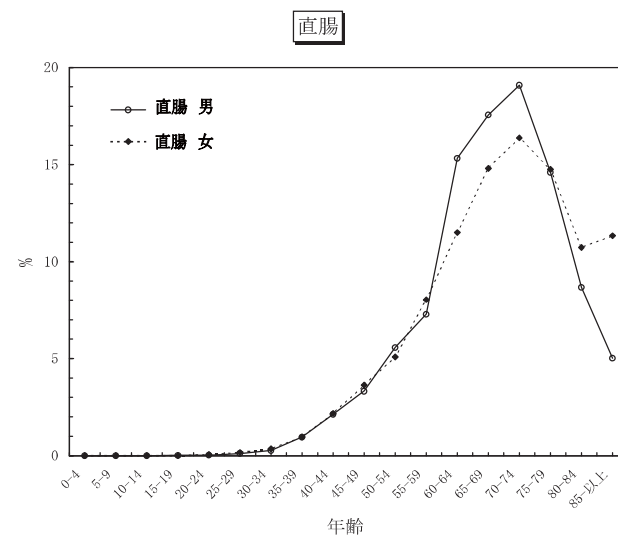
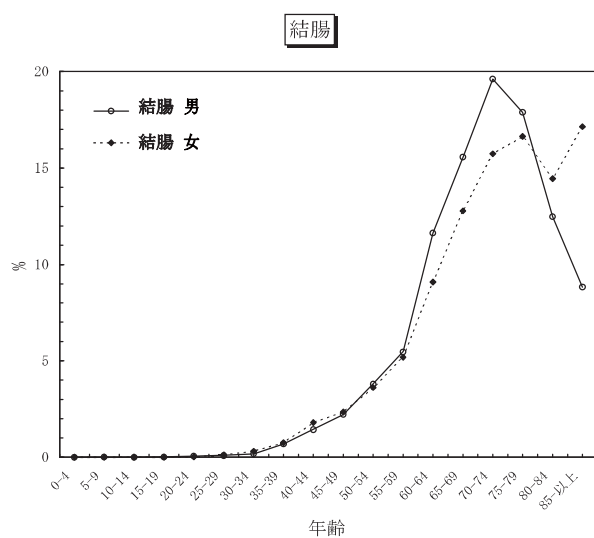
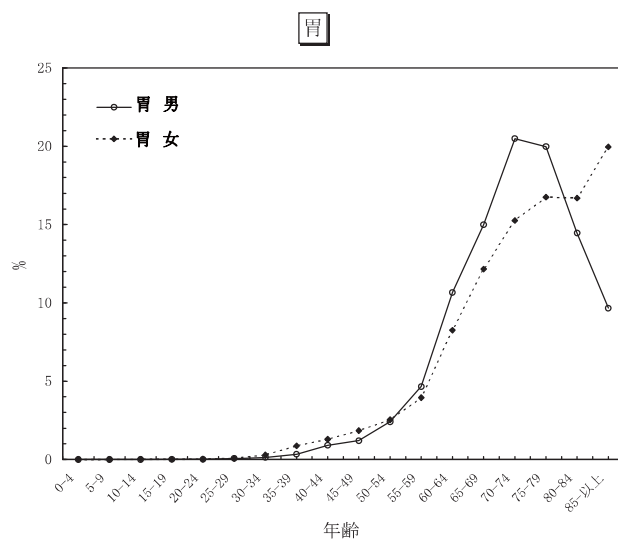
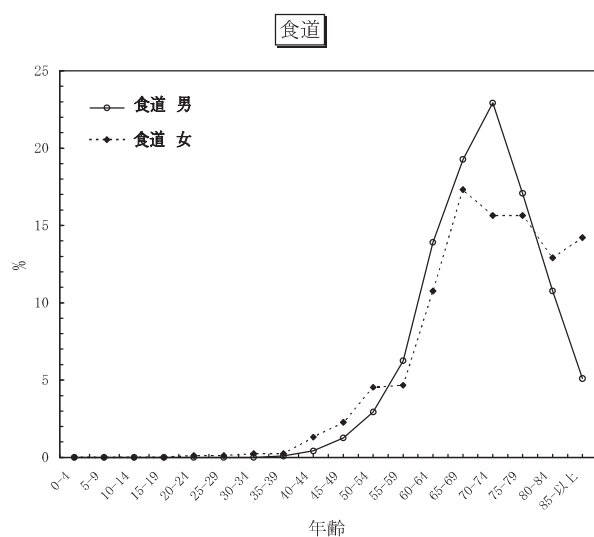
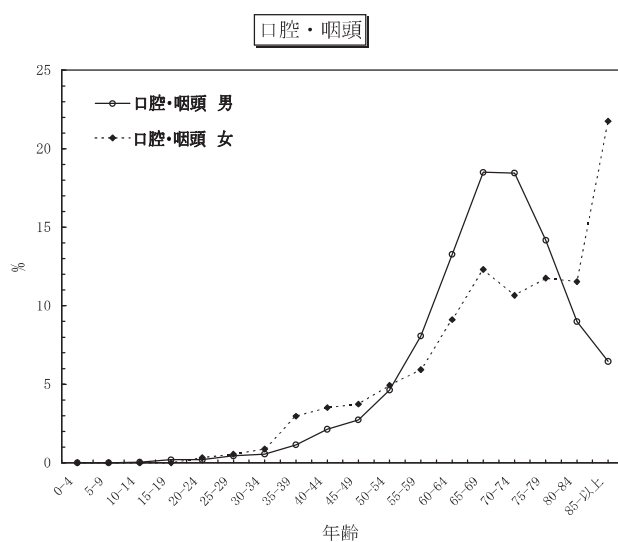
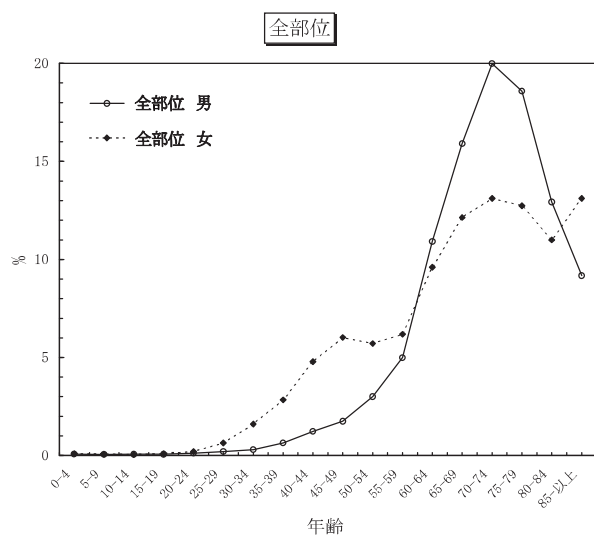


図 7 - 1 部位別、年齢階級別り患割合 (%) (平成 24 - 26 年)

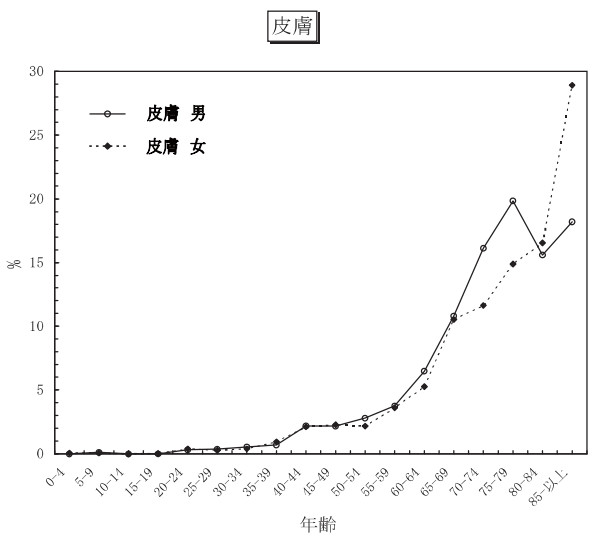
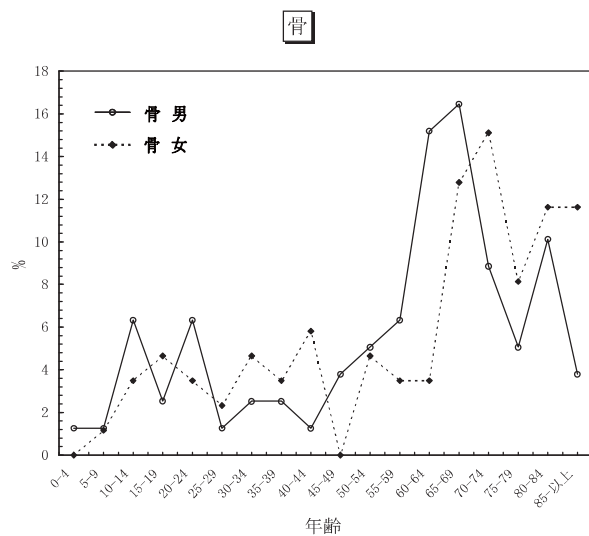
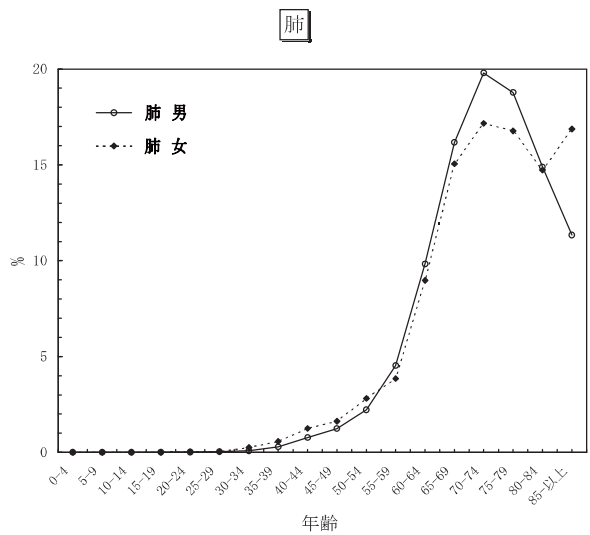
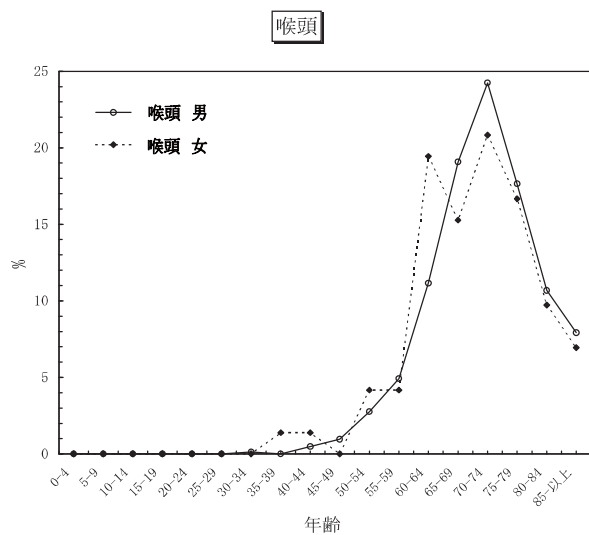
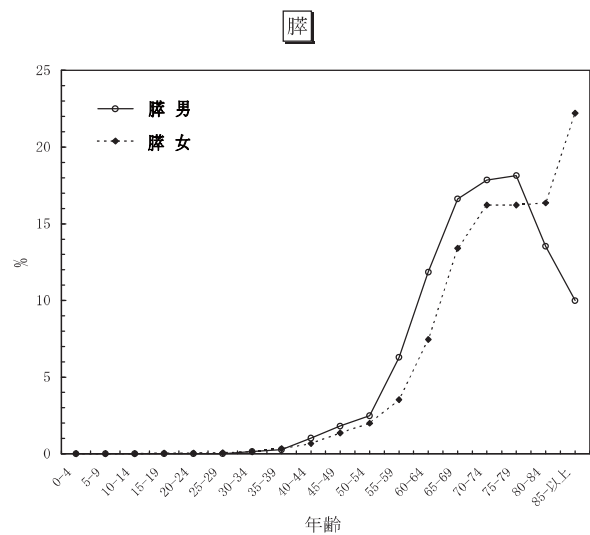
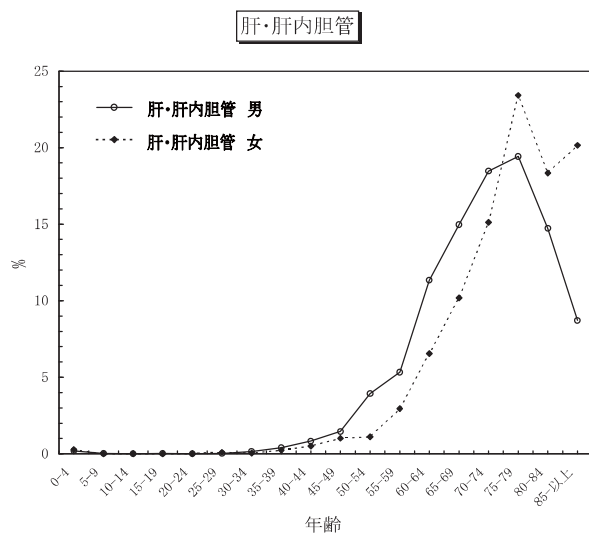


図 7-2 部位別、年齢階級別り患割合 (%) (平成 24 - 26 年)

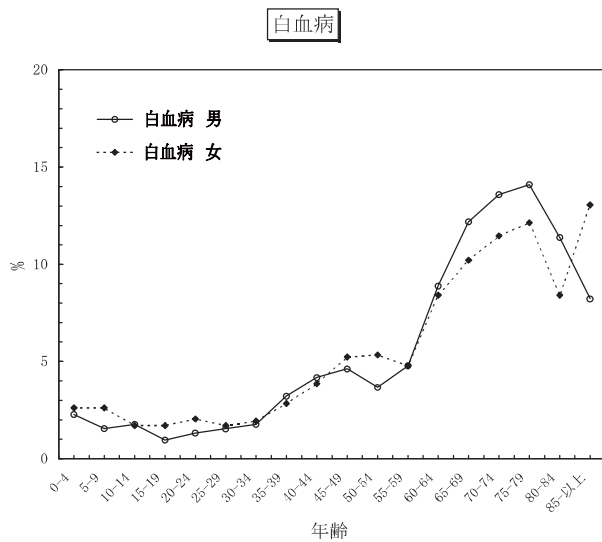
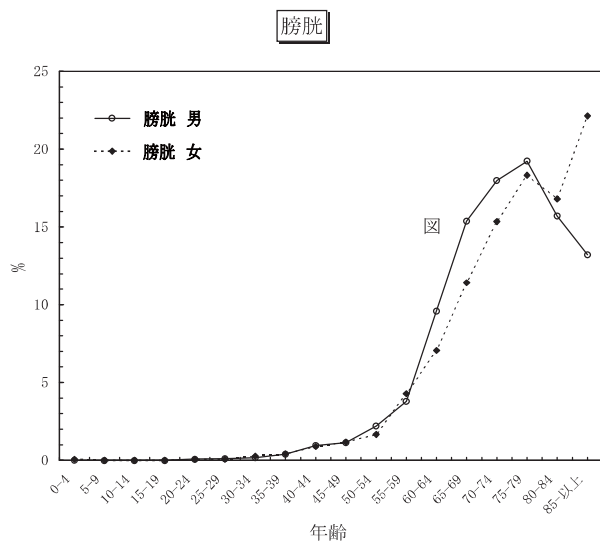
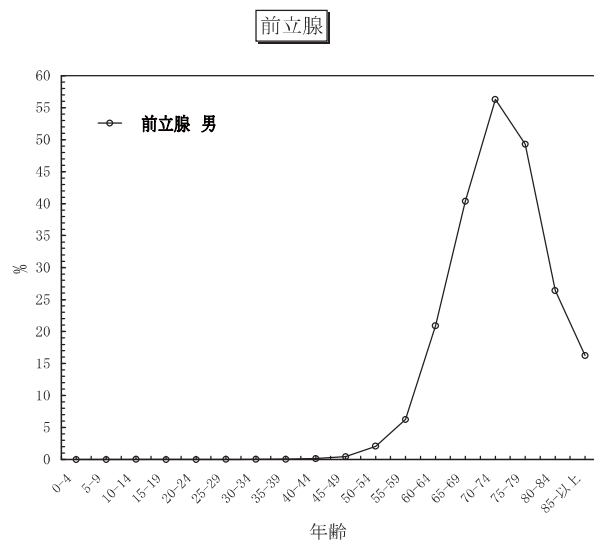
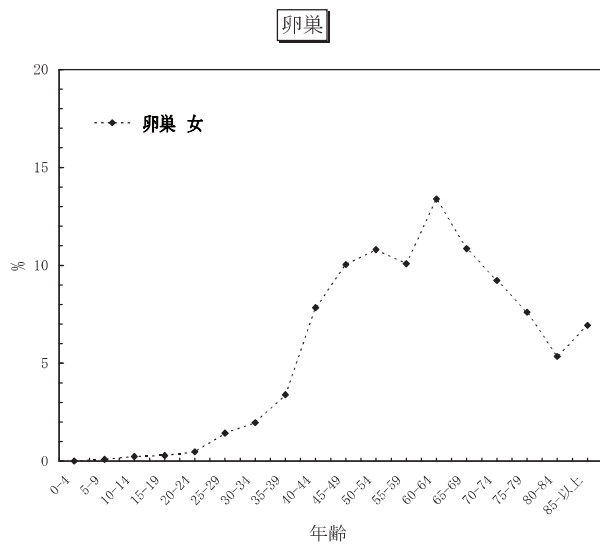
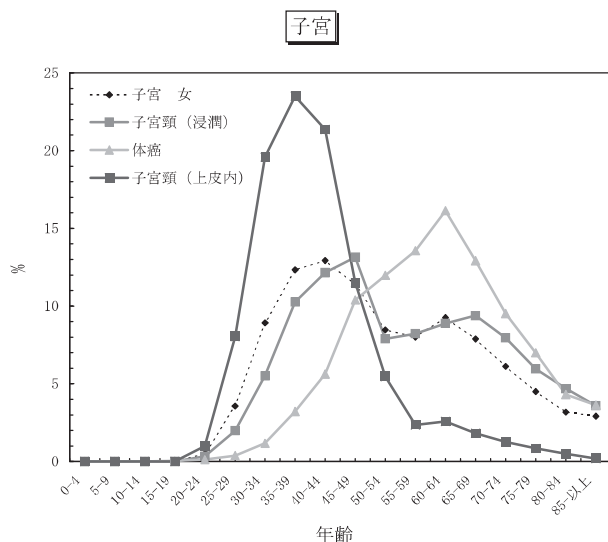
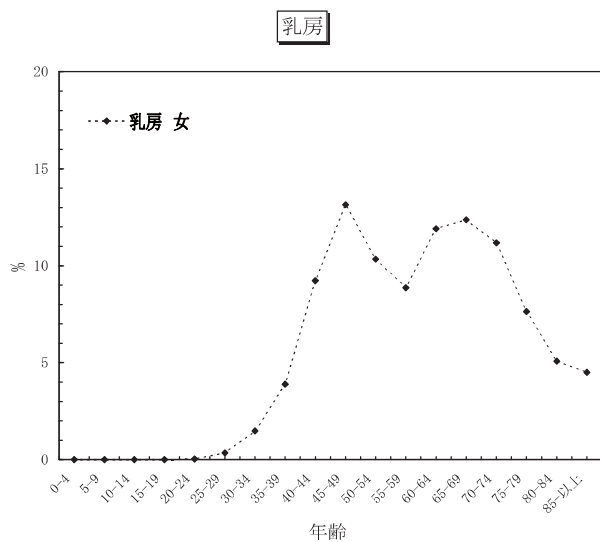


図 7-3 部位別、年齢階級別り患割合 (%) (平成 24 - 26 年)

2. 地域とがん

(1) 地域区分

神奈川県を11の二次保健医療圏ブロックに分け、がんの部位別の罹患率を観察した、地域区分は図8に示し、それぞれに含まれる市区町村は下表にのせた。

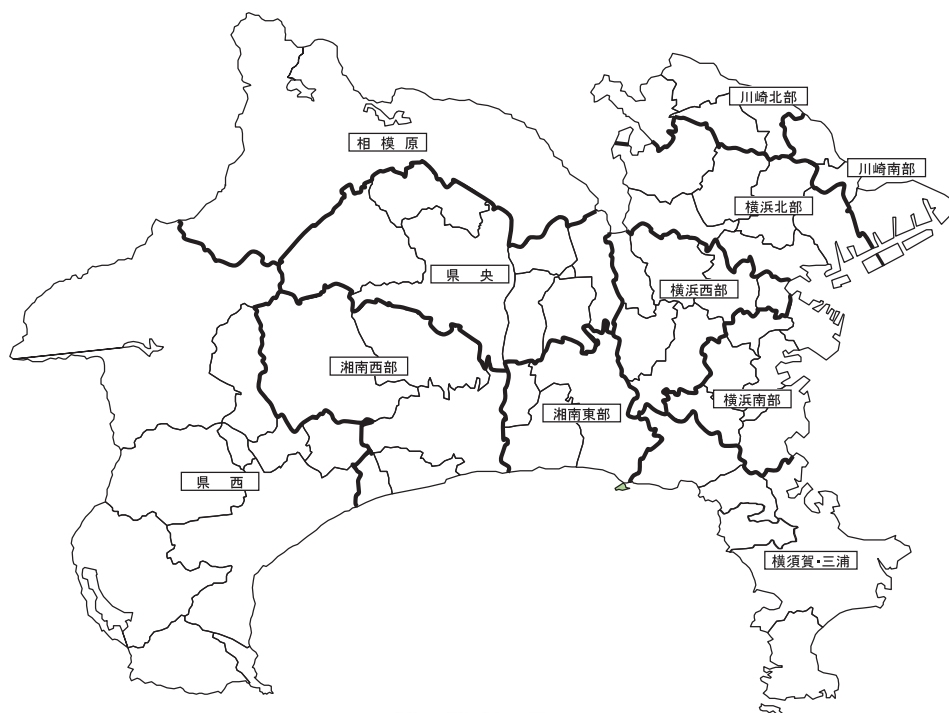


図8 地域区分

二次保健医療圏名と構成市区町村名

二次保健医療圏名	市区町村名
横浜北部	鶴見区、神奈川区、港北区、緑区、青葉区、都筑区
横浜西部	西区、保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区
横浜南部	中区、南区、港南区、磯子区、金沢区、栄区
川崎北部	高津区、宮前区、多摩区、麻生区
川崎南部	川崎区、幸区、中原区
横須賀・三浦	横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町
湘南東部	藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
湘南西部	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
県央	厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村
相模原	相模原市
県西	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町
計（11圏域）	19市13町1村

(2) 地域別のがん罹患状況（レーダーチャート）

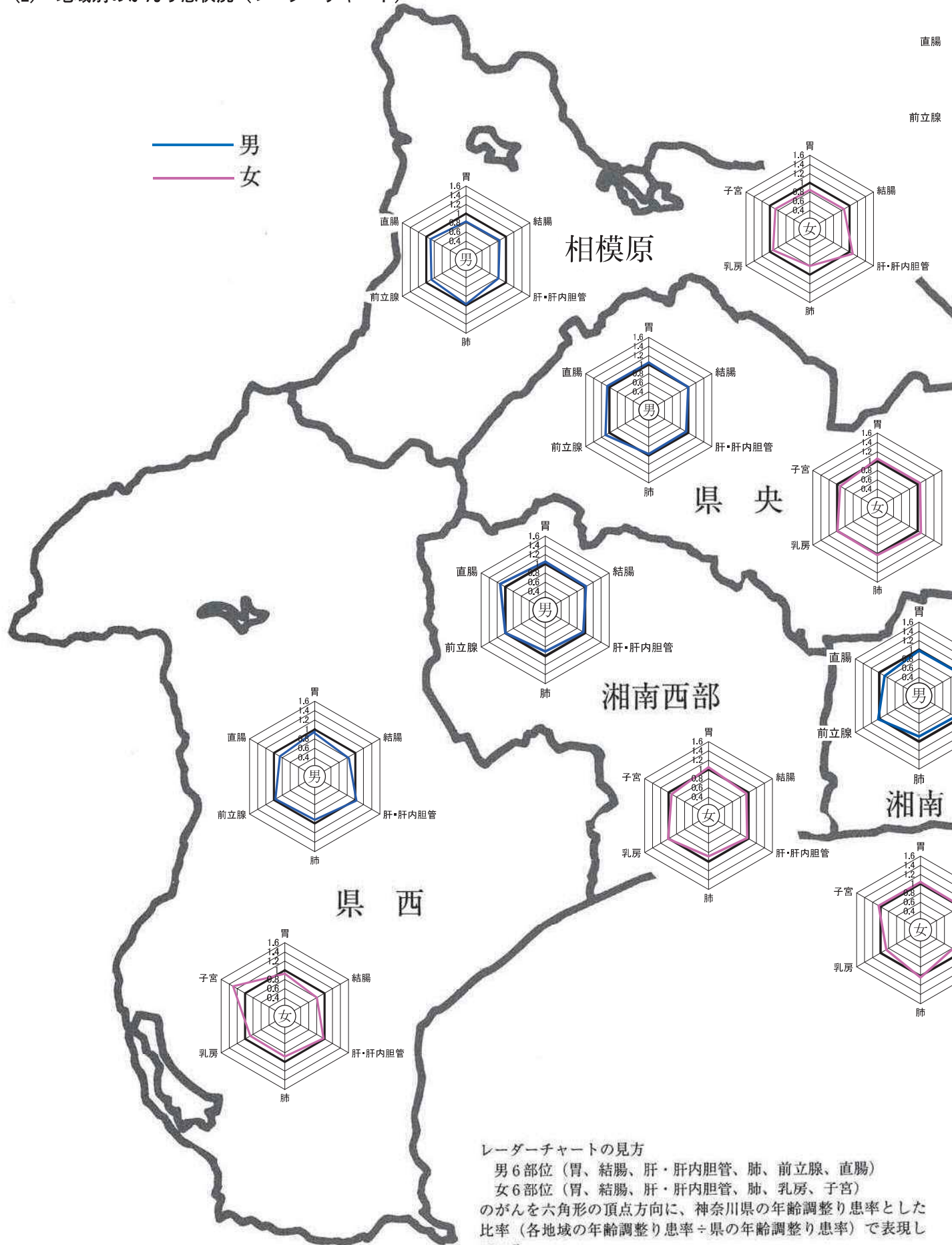


図9 地域別のがん罹患マップ（平成24～26年）

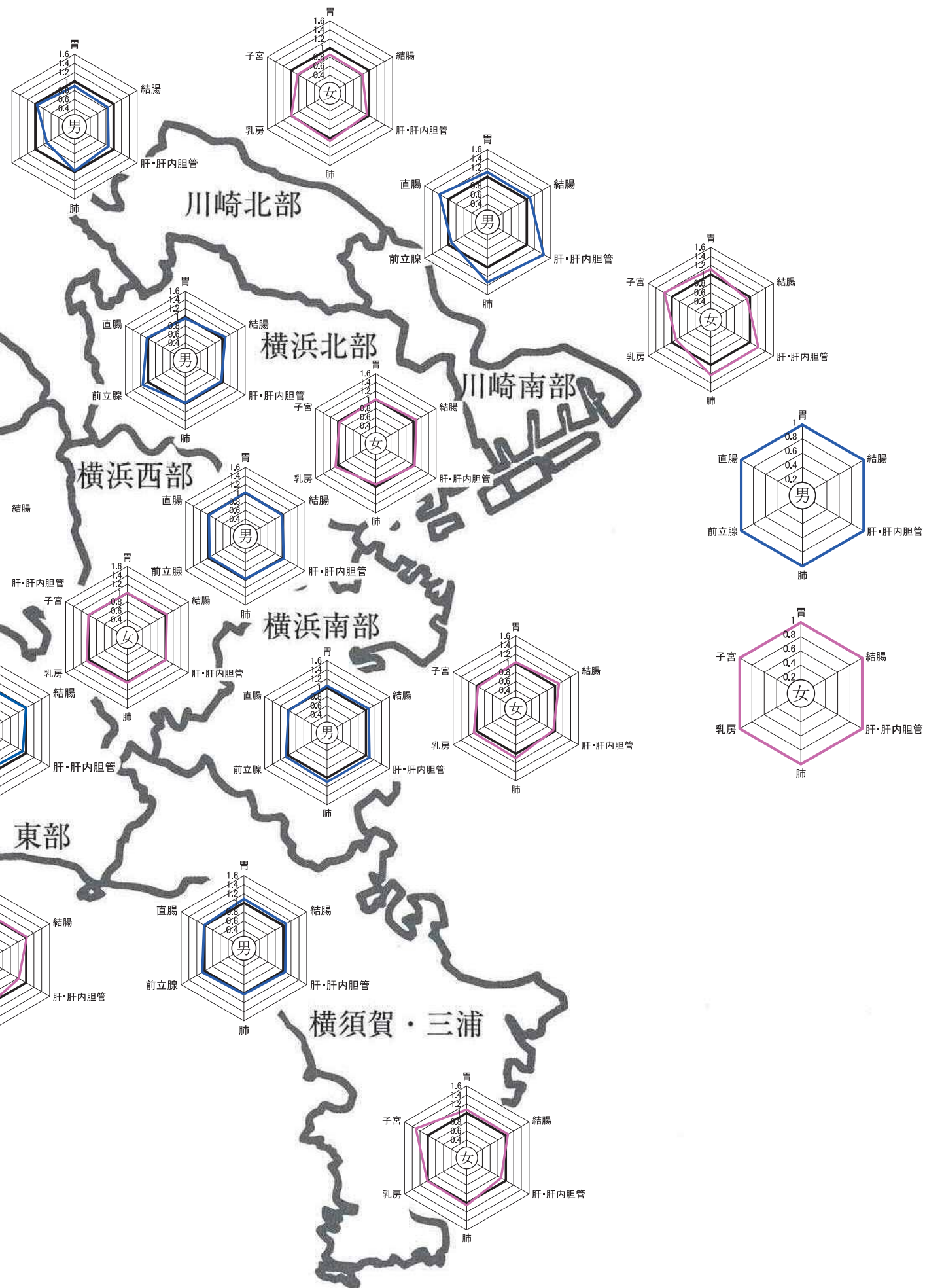


図10 がんり患マップ市区町村位置図

神奈川県内の各市区町村別に部位別年齢調整り患率（平成 24 - 26 年）を計算し、り患率の高い所より濃淡で 4 段階に分類して作図した。また図中の 4 段階の分類の基準のり患率と神奈川県の年齢調整り患率（人口 10 万対の値）を県平均として、図 11 にのせた。濃い色になるに従って年齢調整り患率が高くなっている。

全部位で高いり患率を示したところは男は中区、女は清川村であった。り患率の低いところは、男女ともに湯河原町であった。

り患率は、届出の精度との関係があるため、届出の精度もあわせて見る必要がある。

主要部位については図 11 - 1 から図 11 - 14 までに図示している。

図 11 では各市区町村について全部位および各部位の年齢調整り患率（10 万人対、世界人口モデルで調整）について最小値、第 1 四分位数、中央値、第 3 四分位数、最大値で区切り、4 種類で塗り分けた。

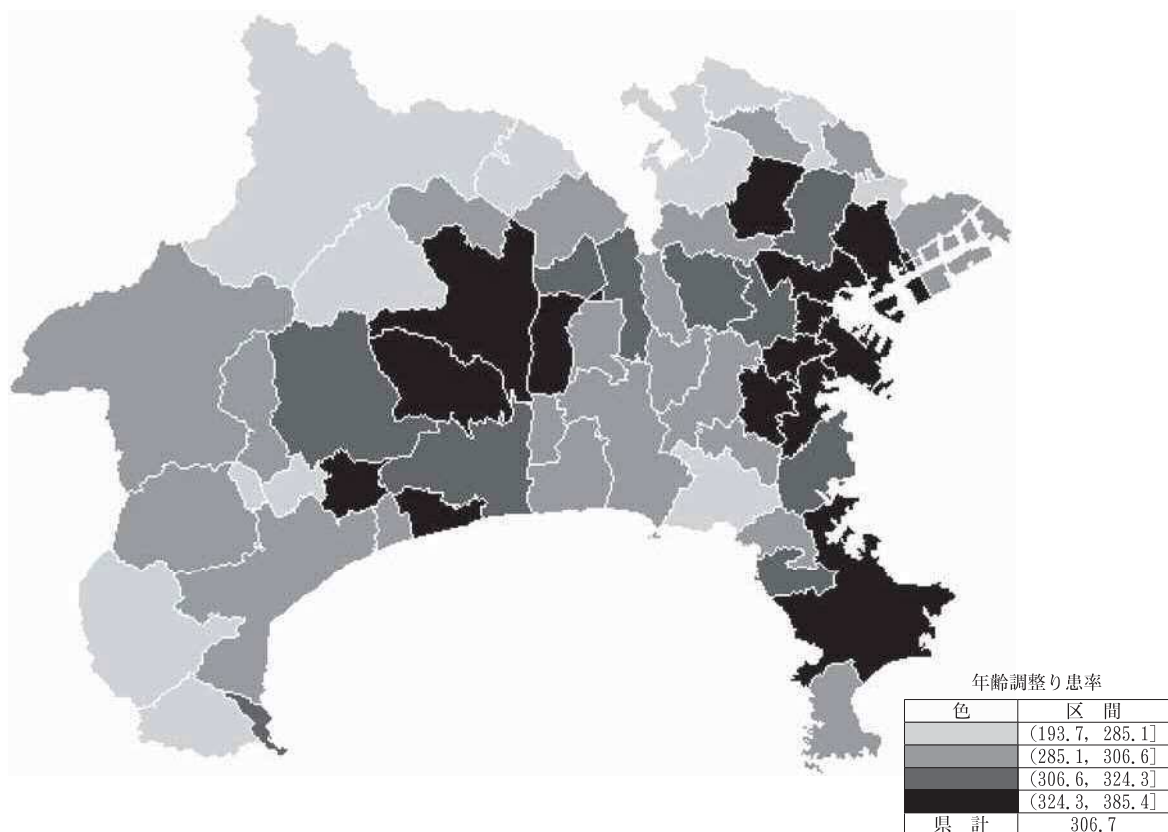


図 11 - 1 全部位（男） （平成 24 - 26 年）

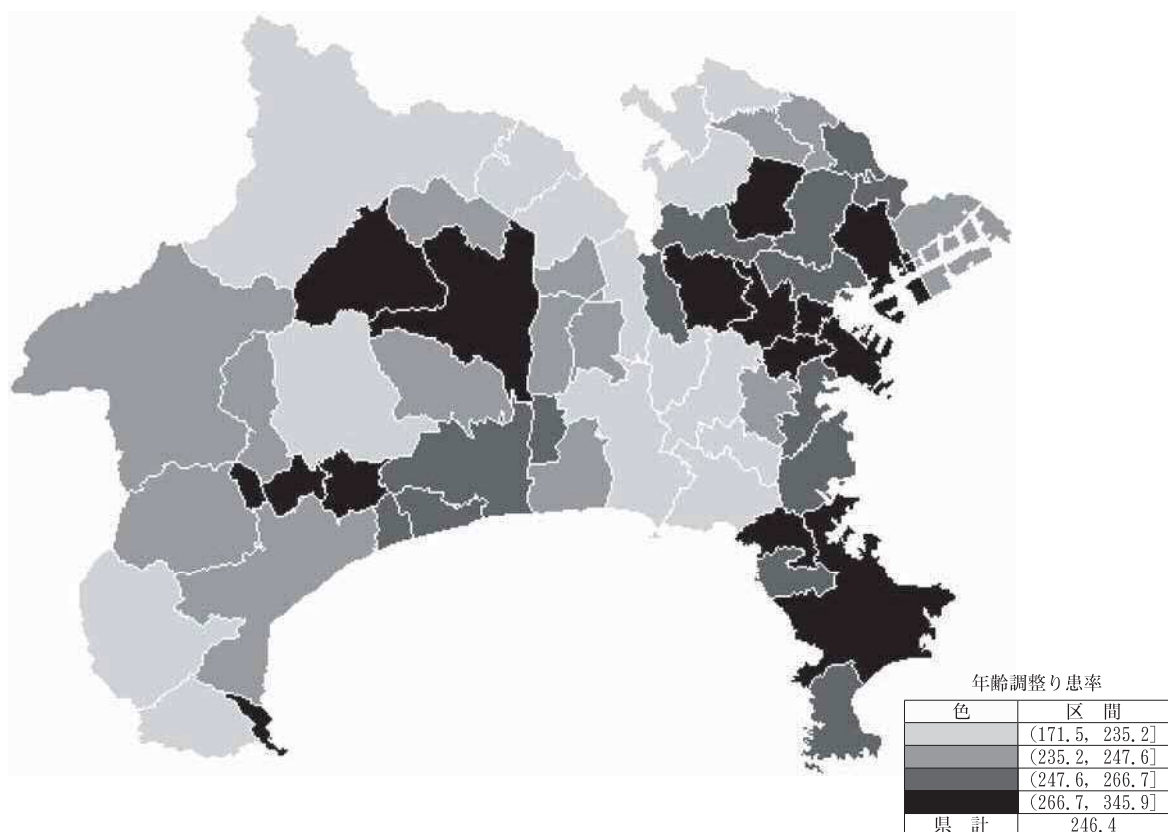


図 11 - 2 全部位（女） （平成 24 - 26 年）

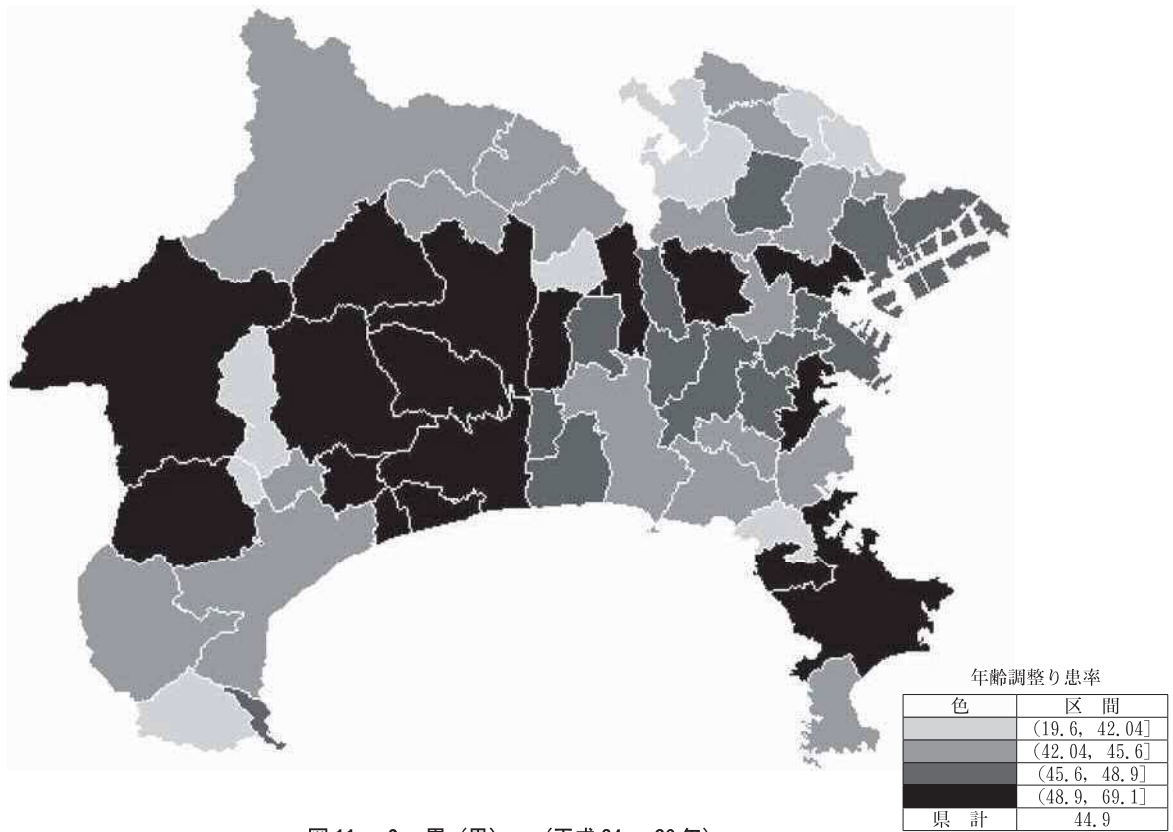


図 11 - 3 胃（男）（平成 24 - 26 年）

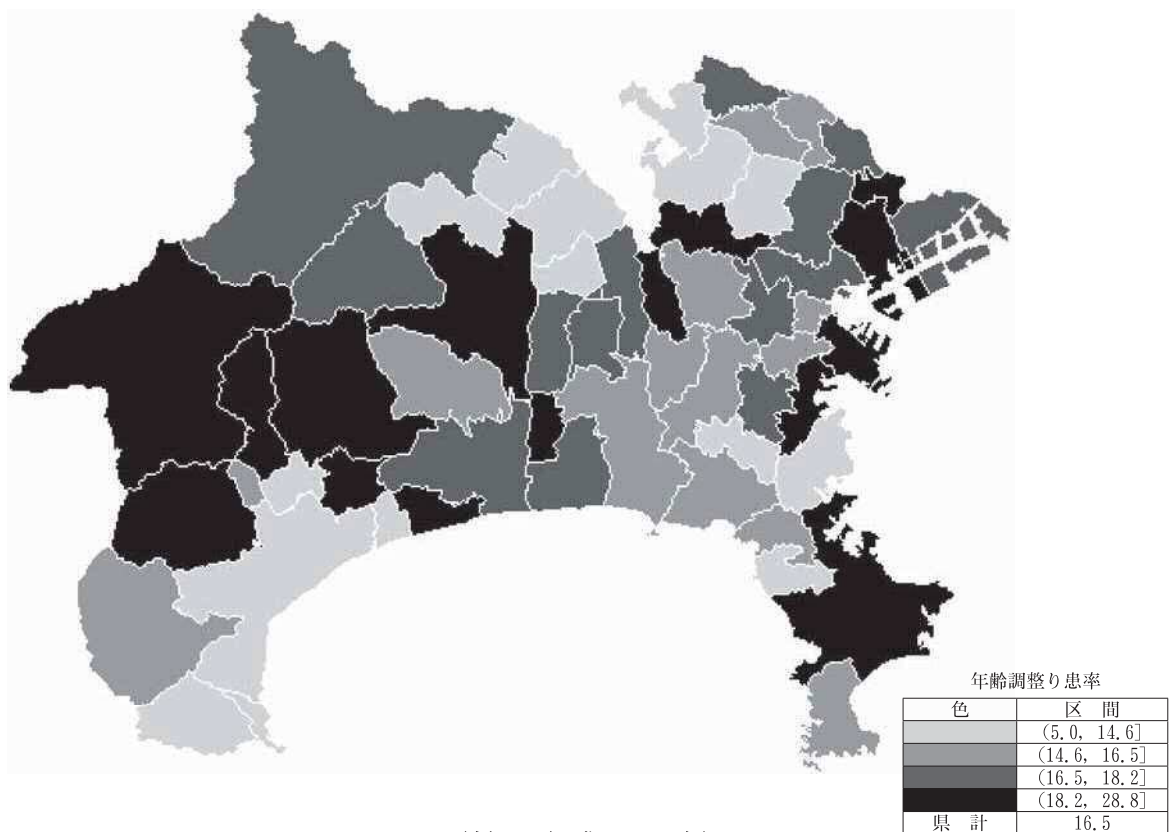


図 11 - 4 胃（女）（平成 24 - 26 年）

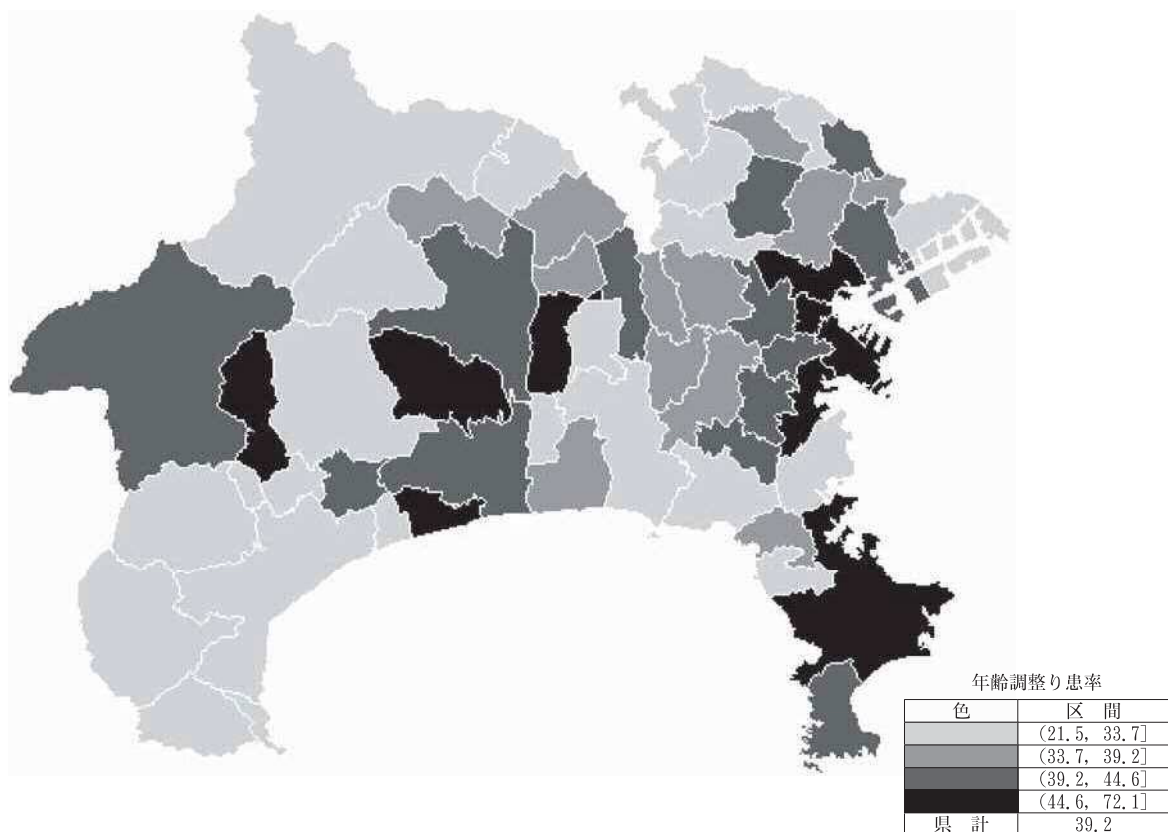


図 11 - 5 結腸（男）（平成 24 - 26 年）

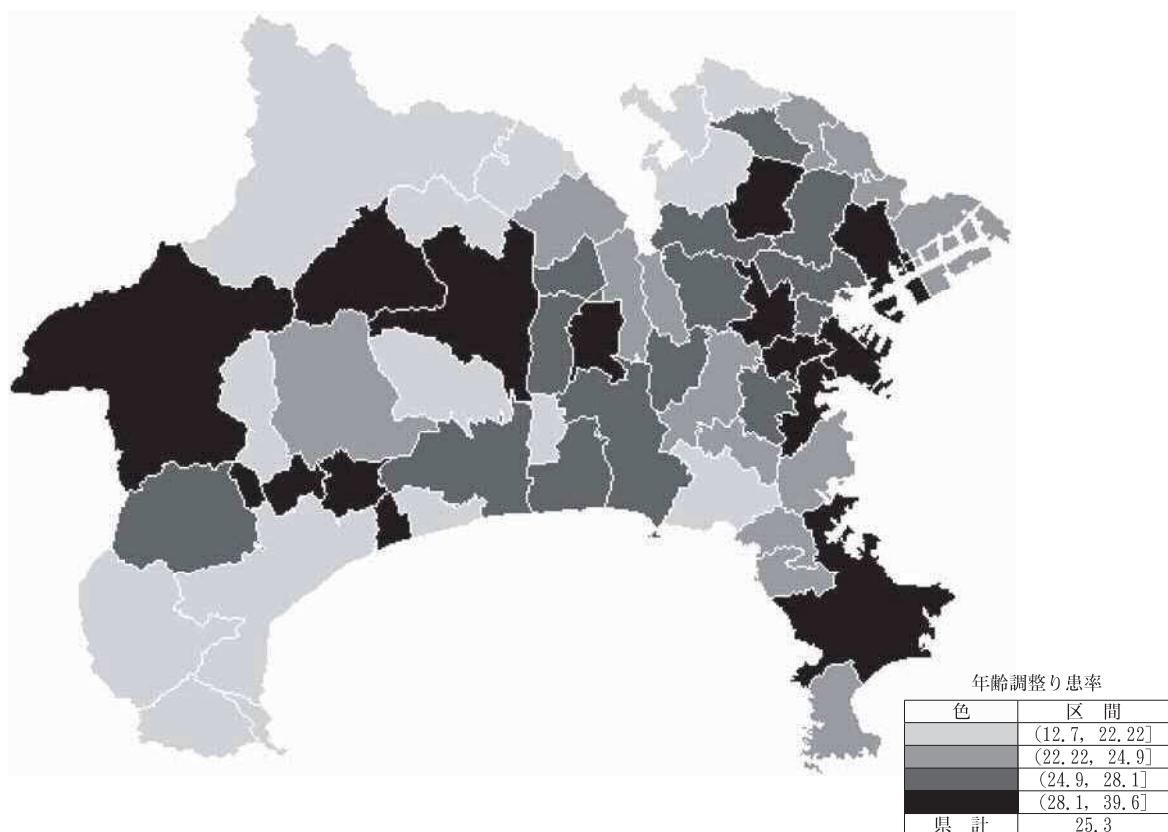


図 11 - 6 結腸（女）（平成 24 - 26 年）

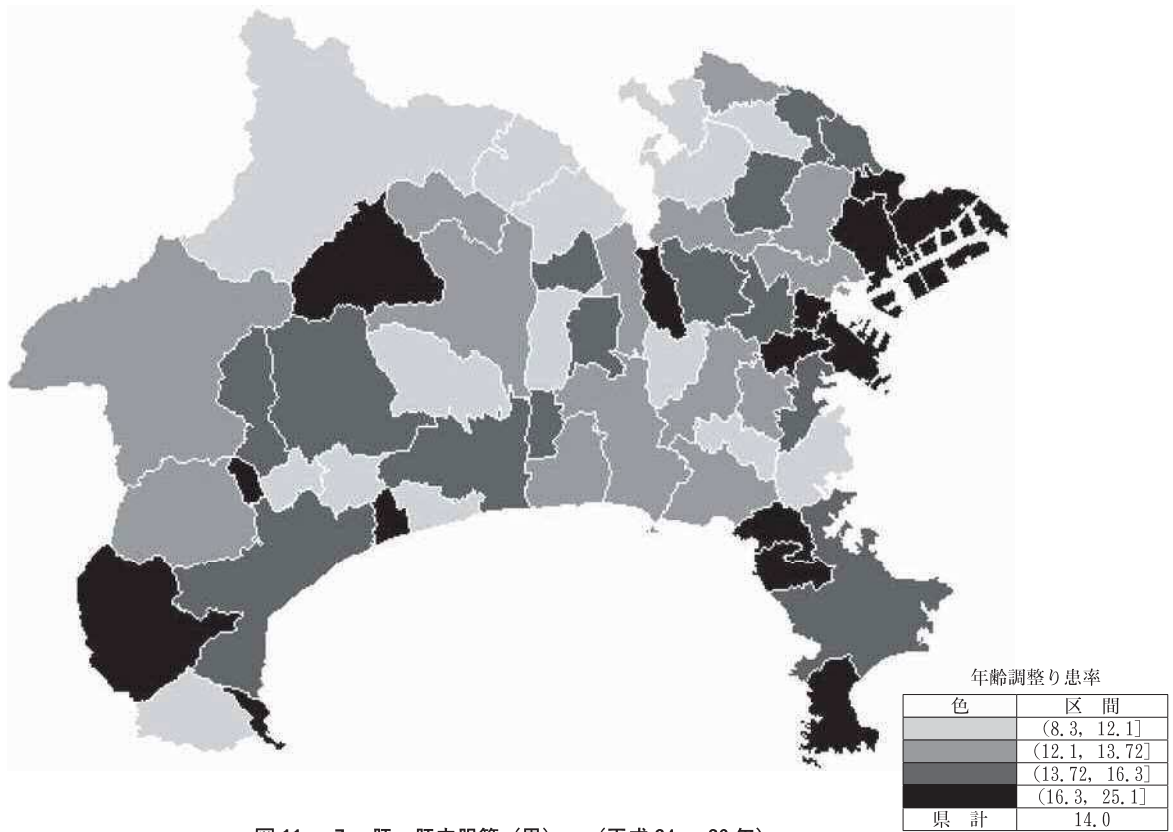


図 11 - 7 肝・肝内胆管（男） （平成 24 - 26 年）

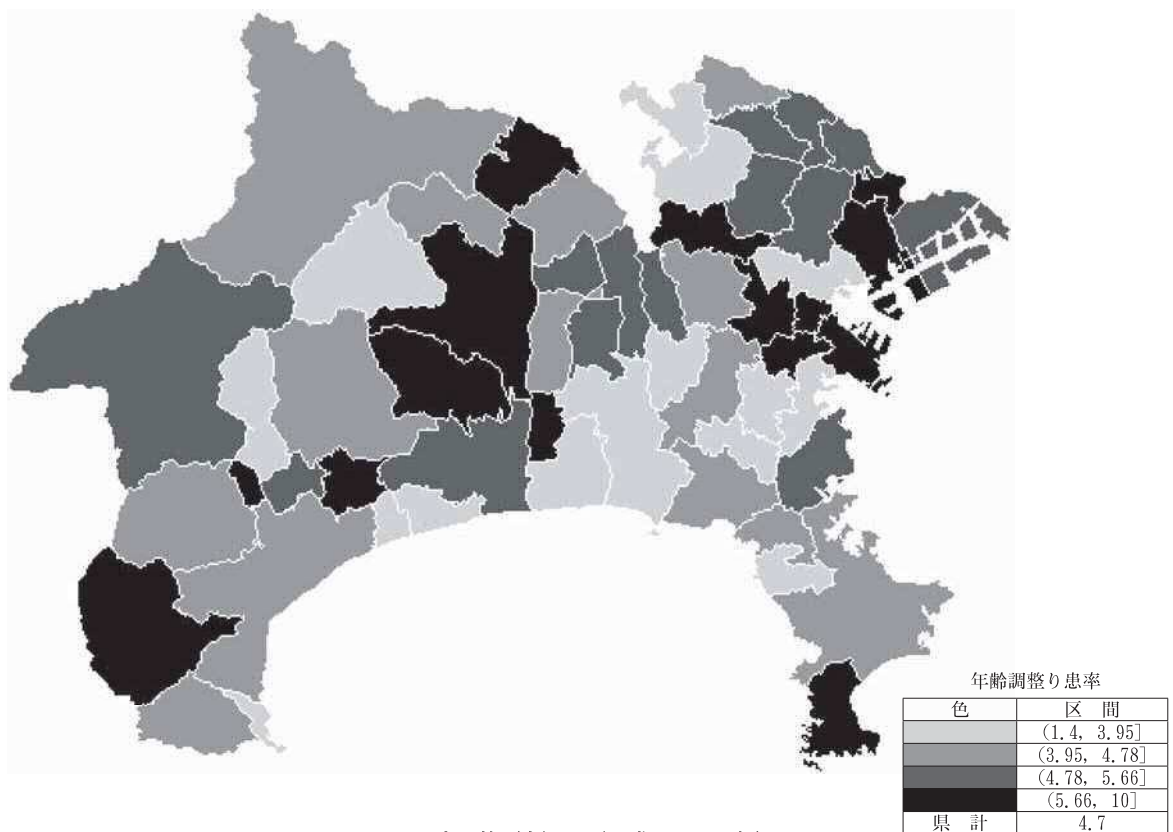


図 11 - 8 肝・肝内胆管（女） （平成 24 - 26 年）

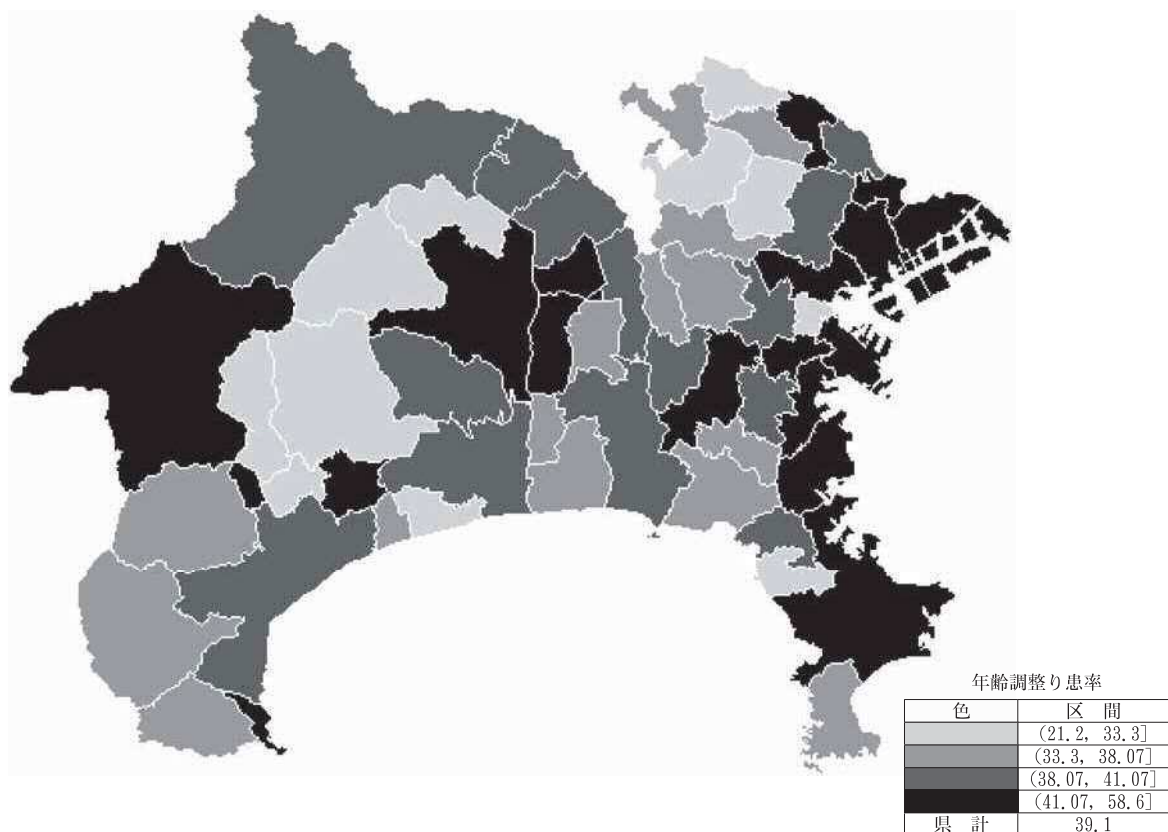


図 11－9 肺（男） （平成 24－26 年）

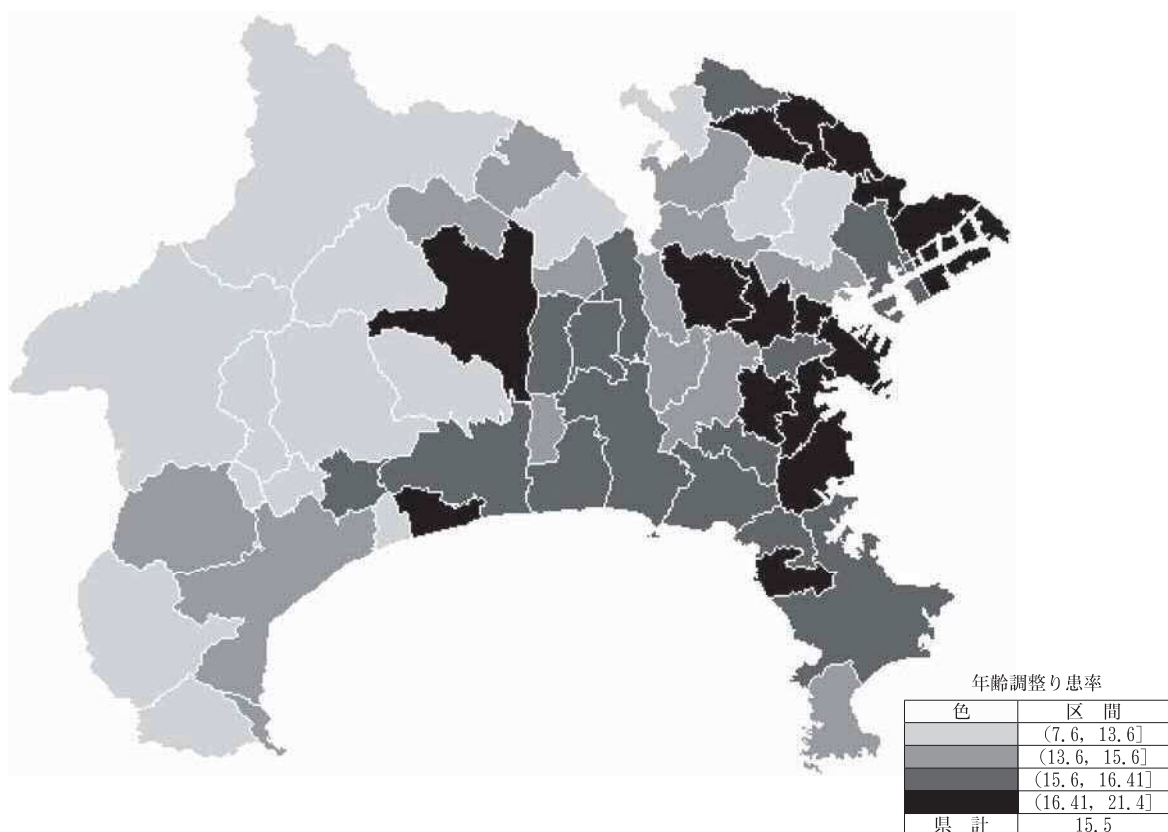


図 11－10 肺（女） （平成 24－26 年）

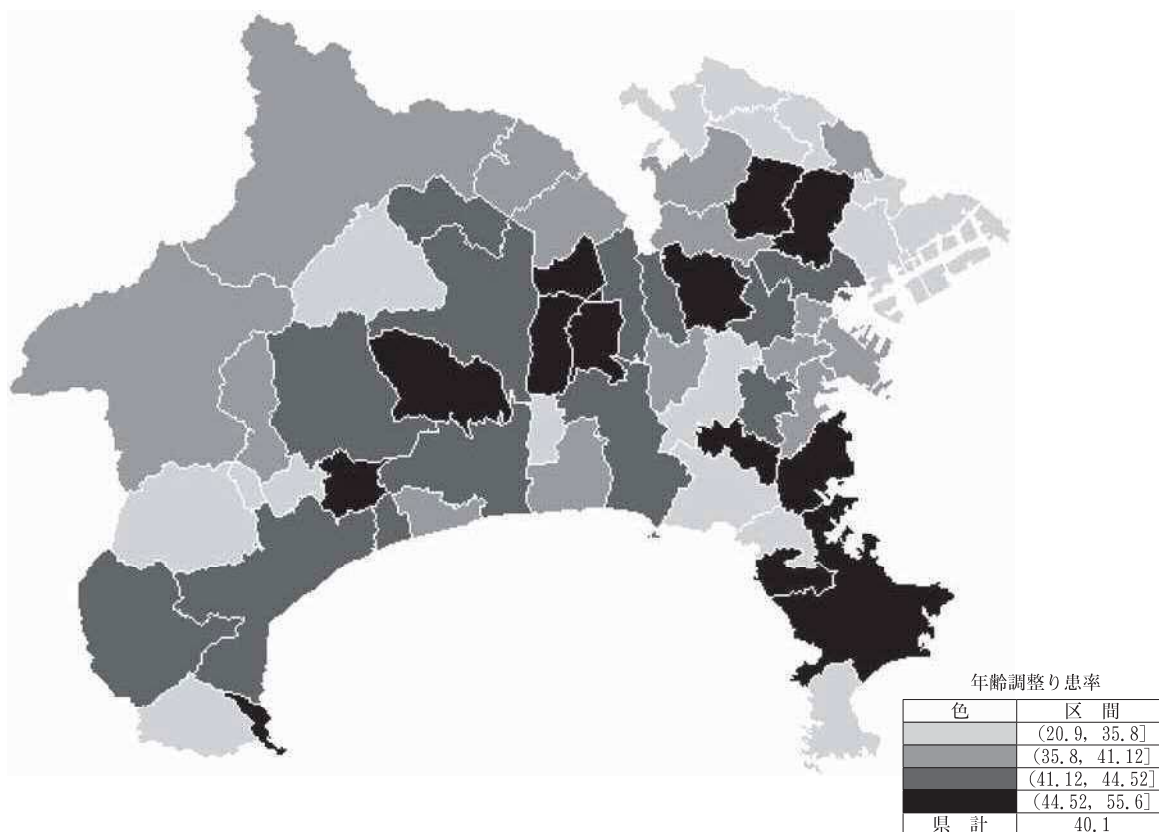


図 11 - 11 前立腺（男） （平成 24 - 26 年）

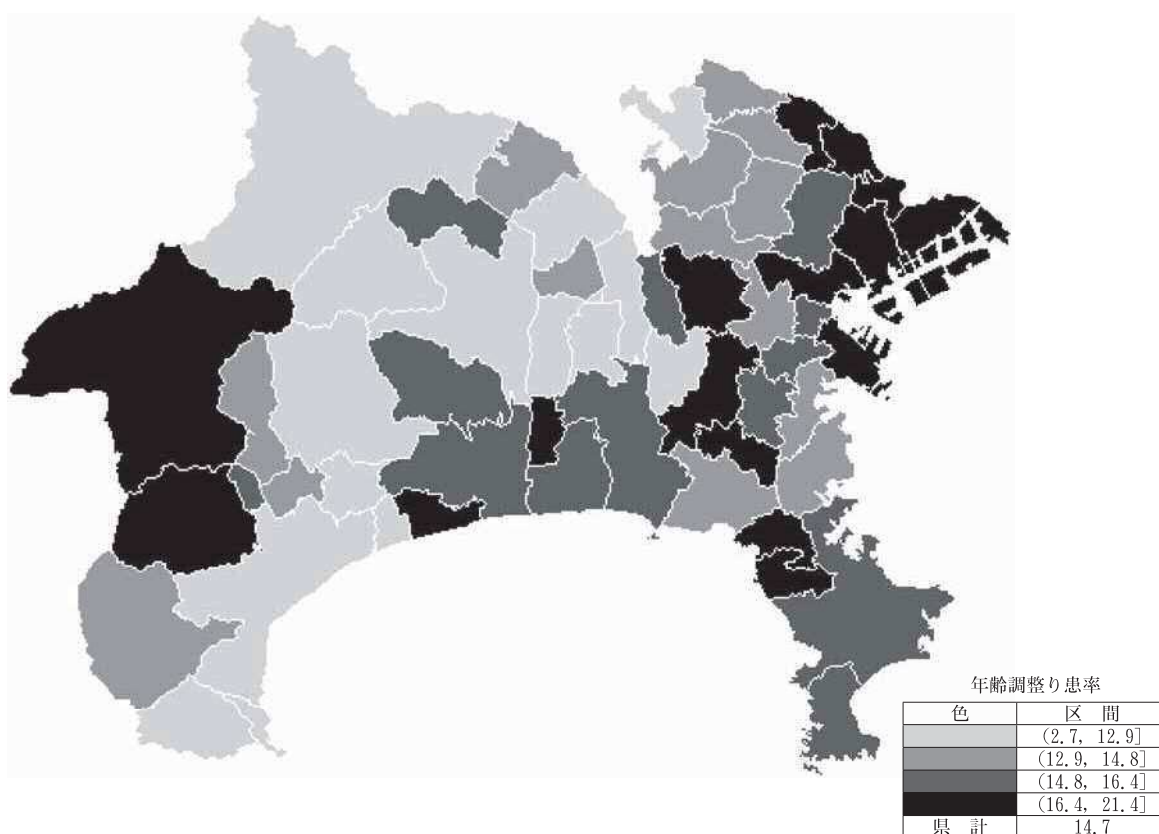
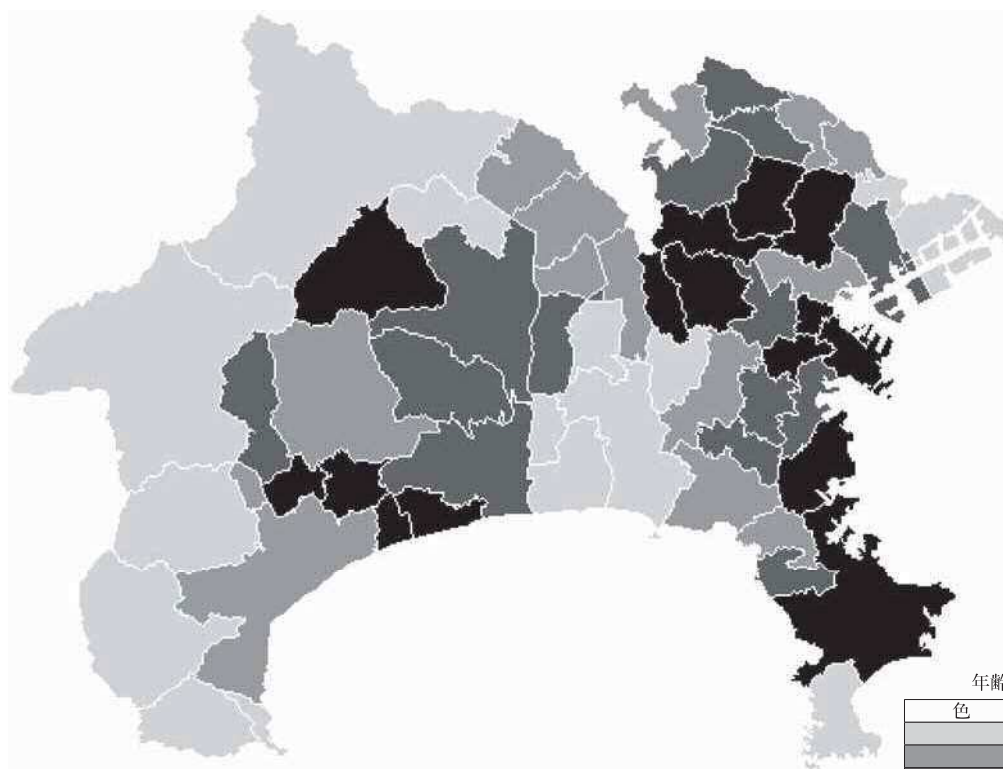
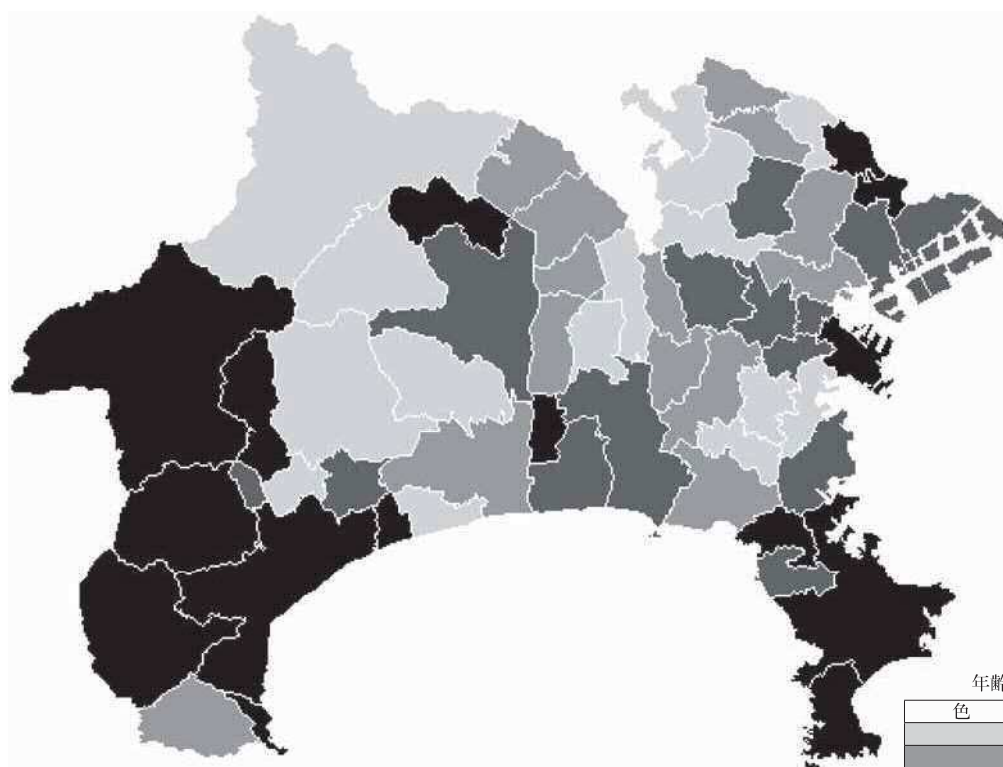


図 11 - 12 膀胱（男） （平成 24 - 26 年）



年齢調整り患率	
色	区 間
	(27.3, 66.3]
	(66.3, 73.6]
	(73.6, 78.2]
	(78.2, 157.3]
県 計	73.0

図 11 - 13 乳房（女）（平成 24 - 26 年）



年齢調整り患率	
色	区 間
	[0, 31.6]
	(31.6, 36.9]
	(36.9, 43.4]
	(43.4, 99.2]
県 計	36.4

図 11 - 14 子宮（女）（平成 24 - 26 年）